

学校運営協議会議事録

令和7年2月6日(木)

定時制 13:30~15:15

場所 杜陵高等学校奥州校会議室

出席者 校長、通信制副校長

菊池 伸介 佐藤徳義税理士事務所(P T A代表)

小形 千秋 金鈴工業(株)(F T A代表)

菅原 計二 平泉文化遺産センター主任文化財調査員

小野寺 順司 有限会社小野寺板金代表取締役(委員長)

小野 智哉 (株)北上交通観光

千田 裕子 奥州市水沢南中学校校長

菊地 治美 県社会福祉士会

宍戸 直美 杜陵高校同窓会理事

児玉 直人 胆江日日新聞社編集局報道部付次長兼ICT化推進室長

高屋敷 栄子

野澤 尚

次 第

進行 通信制副校長

※ 開会前 生徒発表(とりよんカフェ、生徒活動発表)

開 会

1 校長 挨拶

2 学校運営協議会 委員長 挨拶

3 奥州校学校運営協議会について(副校長)

4 杜陵高校創立100周年記念式典実施報告等(校長)

5 奥州校概況説明(副校長)

6 奥州校学校評価アンケート集計結果(副校長)

7 協議・意見交換

8 その他

令和7年度 杜陵高校奥州校学校運営協議会委員会委員のお願い

令和7年度 杜陵高校奥州校学校運営協議会委員会日程(予定)

第1回 令和7年度6月5日(木)

第2回 令和8年1月29日(木)

閉会

2 委員長挨拶

- ・先程の生徒による「総探」発表は、前向きで素晴らしかった。
- ・100周年記念式典でもダンス披露等、大変良かった。
- ・ボランティア活動、とりよんカフェ、リンゴ園体験などの事業は、校長先生はじめ先生方の指導のおかげであり、感謝している。

3 奥州校学校運営協議会について（副校長）

- コミュニティースクールについて
 - ・地域清掃は定通共通
 - ・来年度は、一層地域との連携を深めたい。
- P3の100周年記念式典について（校長）
 - ・「マスコミ報道一覧」参照のこと
 - ・講師をお願いしてダンスを取り上げた。
- P6～学校評価アンケートについて
 - ・概ね「達成されている」
 - ・今後の改善に役立てたい。

7 協議・意見交換

・小野寺 順司 様

在校生が前向きである。先程の紹介動画でも生き生きしていた。やる気のある生徒が多い。

・小野 智哉 様

昔と変わったな、の一言に尽きる。昔は生徒は無気力な感じもあった。淡々と進んだ本校の90周年や奥州校の10周年式典に比べて、今年は違った。このような授業以外の経験が社会で生きてくる。コミュニケーション力を養う活動が大事。

・菊池 伸介 様

PTA会長を3年間やった。PTA研修旅行は参加者が少なかった。PTAという組織がある以上、親も積極的であればいいのだが。

・小形 千秋 様

学校評価アンケートP11の10に関して、情報処理の授業があれば将来役に立つのでは。「学校へ行こう」では他の親御さんに会わなかった。文化祭のような行事で親を呼んでみては。

・菅原 計二 様

「学校へ行こう」ありがとうございました。校内の雰囲気も良く、生徒はまじめに取り組んでいた。私はH4年度に入学しH7年度に卒業したので30年も経った。今の生徒は地域清掃や企業見学で外に出ている。良いことである。地域の一員だという意識を組み込んでいる。労働条件セミナー等も社会に出た時に役立つだろう。

・千田 裕子 様

とりよんカフェに感動した。「総探」の発表生徒は堂々としていた。キャリア教育が充実している。中学校も取り入れていきたい。

質問：小野智哉さんの感想に関して、なぜ「変わった」のだと思うか。

校長：入学時には自信がなかった生徒に、「まず、やってみよう！」と促し、挑戦したら「よくできた。」とほめることを繰り返す。誰かの役に立てたという実感を持たせて自己肯定感を高めるしかないのでは。リーダーを育てる必要がある。失敗は構わないので、チャンスを多く与えたい。

・宍戸 直美 様

100周年記念式典では生徒が生き生きとしており感動した。式典ポスターに関しても美術部が頑張ってくれた。

一方で休眠生の生徒の数は多い。一生懸命な子はそのまま頑張らせてほしいが、そうではない子にどのように生きる力をつけさせて救うかが問題ではないか。

質問：「チャレンジ枠」と通常枠の違いは？

校長：不登校生徒は欠席日数が多くなるが、出席状況等は評価の対象外にし、面接・作文のみで評価する。他県ではかなり早くから導入している。

・児玉 直人 様

休眠、休学者の数が気になった。行事に関しては素晴らしく、良いと思う。しかしながら、なかなか出てこない生徒への対応は課題と言える。温度差が出てしまう。自信が持てない子、コミュニケーション力の低い子のフォローが大事だと思う。「学校へ行こう」では、生徒と先生が友達同士のように仲の良い様子が見られた。体育も頑張っていた。

- ・村山副校長

休眠生の多さは、やはり全国的にも通信制高校の一つの問題として認識されている。引き続き本校でも対応に取り組みたい。
通信制では、情報の授業はあるが実習はない。

- ・野澤 尚

休眠状態だった生徒が来て、来年度の登録をするケースはあるが、やはり休眠生の状況は難しい。

- ・校長

今年度の奥州校通信制前期卒業生 2 名のうち、1 名は 10 年目の生徒であった。よく頑張って取り組んだ。時間をかけて取り組む生徒もいる。

8 その他

来年度日程について

閉 会